

第3回 デイサービス翠のさと 運営推進会議議事録

日時：平成29年8月29日(火) 14:00～
場所：翠のさと 会議室
出席者：米子市認知症地域支援推進員
米子市長寿社会課職員
ふれあいの里地域包括支援センター職員
デイサービス翠のさご利用者代表
有限会社とんや代表取締役社長
翠のさと統括施設長
デイサービス翠のさと管理者
翠のさと在宅事業部長
※民生委員・自治会長は、都合により欠席
配布資料：レジメ・第2回運営推進会議議事録
翠のさとだより（3月～8月）

会議概要

1. デイサービス相談員より現状報告

登録者数：28名（外部：14名 サ高住：14名）

要支援1：4名	要介護1：13名
	要介護2：5名
	要介護3：6名

平均要介護度：1.6

取り組み；翠のさとだより参照

4月：花見 5月：皆生温泉までドライブ・人形展見学

6月：境港キタロウロードへドライブ・大根島へドライブ

7月：そうめん流し 8月：夏祭り

○音読教室 1回/2ヵ月

○料理教室

カレー作り（1回/月）・味噌汁作り（1回/週）・お菓子作り（1回/月）

○お楽しみ教室（不定期）

手作業（手芸など）をして作品を作って頂く。

今後の予定

○9月に保育園との交流会

○敬老会

○外出支援 一度に皆さんを案内する事が難しくなっているので、少人数ずつで行うようにする。

2. 地域とのかかわり方について

デイサービス翠のさと管理者より：現在地域とのかかわりが少ないので、出向く様にしないと行けないと思っている。また、公民館への展示（文化祭）や参加もしていきたい。

米子市長寿社会課職員様より：市内には、40カ所以上の地域密着の事業所があるので、色んなことをされていると思うが。施設内での交流は無いですか。

デイサービス翠のさと管理者より：事業所から長時間出掛ける事は、制約もあり出来ない事もある。

また、同法人内での交流も規制があり難しい事がある。

例：サ高住の入居者が、デイサービスで一緒に行事をする事に対する規制。

地域との交流をなさいと言いながら規制が厳しい。

米子市認知症地域支援推進員様より

そんな規制があると知らなかった。だが、地域との交流やお出かけなどは、やってもらいたい。

担当の利用者で、小規模多機能を利用し始め、今では自分がボランティアとして行ける様になられた方もいる。そして、自分の知り合いも連れて行けるようになった例もある。

また、他職種のスタッフがいると良いと思う。

認知症の方で、閉じこもり気味の方の場合、最近では OT スタッフに入って貰い、そこから始めデイサービスに行けるようになった例もある。

3. 今後の課題について

現在、翠のさとのデイサービスは、日・祝日が休業日としています。祝日営業も検討しなければならないかな？と思っていますが。

デイサービス翠のさとご利用者代表様：休みの日は、息子が来てくれて買い物などしている。今では、息子が頼りです。

ふれあいの里地域包括支援センター職員様より：日・祝日休みでもそれぞれあって良いと思います。暦が分かり、メリハリが付いて良いと思います。日・祝日利用したい方は、やっているデイサービスに行ってもらえば良いと思う

ので。

米子市認知症地域支援推進員様より：デイサービスを選定するに当たっては、ただ近ければ良いとかでは駄目です。ケアマネが見て、ご本人にも見て確認して貰い選ぶこと。

参加しておられるデイサービス翠のさどご利用者代表様の場合は、デイサービス送迎時にゴミの確認もお願いしている。そんな融通を利かして貰いながら、現在では、料理も時々され、お抹茶も美味しく点てられる様になりました。民生委員さんや自治会長さんにも協力して頂きました。

ふれあいの里地域包括支援センター職員様より：最近融通の利かないデイサービスが増えて来ているように感じています。今回のお話の様に、デイサービスでいろんな事をトータル的にして頂けるとありがたいと思います。

米子市長寿社会課職員様より：地域の皆さんが理解しないと認知症ケアは難しいと思います。それを今、自分の親を看っていて実感しています。

市の事業で、認知症登録制度を実施していますので利用して下さい。

米子市認知症地域支援推進員様より：

認知症ケアは無いと思っています。誰でも一緒。人権が第一。これをしっかり考えて行えば良い。

4. その他：

RUN TOMO の紹介

終わりに

社長より：本日の意見を参考にし、来てよかったと思えるデイサービスを目指し、地域の方に気楽に来て盛られるような施設を目指します。

本日は、ありがとうございました。

第3回デイサービス翠のさと運営推進会議

H29.8.29

本日の議題

1. デイサービスの現状についての報告

2. 地域とのかかわり方について

3. 今後の課題について

4. その他